総合評価方式の現状
～港湾空港工事を中心として～

(一財)港湾空港総合技術センター（SCOPE）
建設マネジメント研究所　公共調達支援総室
上席研究員　高木　栄一

平成25年12月

1

・・・本日お話しする内容・・・

1．総合評価方式の実施状況
- 1－1　47都道府県・51主要市（指定都市、県庁所在市）
- 1－2　1,722市区町村

2．港湾空港工事の入札契約実態
- 2－1　平均落札率の推移
- 2－2　工事規模別の実態
- 2－3　二極化への対応と地方整備局の実態

3．加算点付与の状況と落札率
- 3－1　農林水産省の総合評価方式
- 3－2　加算点付与の状況と落札率

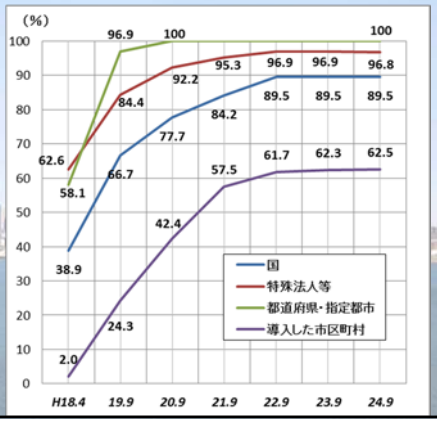
4．総合評価方式の課題
- 4－1　技術提案評価型
- 4－2　施工能力評価型
- 4－3　施工体制確認型
- 4－4　一括審査方式

2

1. 総合評価方式の実施状況

出典：「入札契約適正化法に基づく実施状況調査について」
（平成19～24年度調査、国土交通省・総務省・財務省）

- 調査概要
- 別紙1　実施状況調査の集計結果
- 別紙2　入札契約適正化法対象の各団体の入札契約制度の現状について



1－1　47都道府県・51主要市（指定都市、県庁所在市）

平成24年度、総合評価方式の実施件数

都道府県

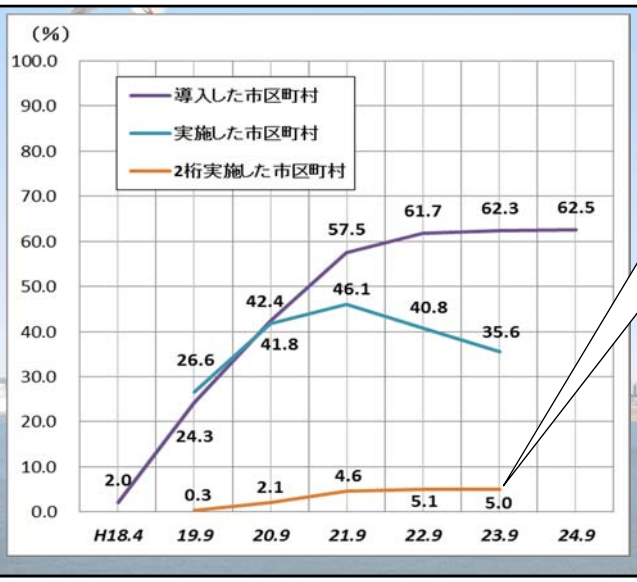
順位	都道府県	件数	順位	都道府県	件数	順位	都道府県	件数	順位	都道府県	件数	順位	都道府県	件数
1	愛媛県	1,072	11	和歌山県	632	21	埼玉県	314	31	茨城県	180	41	広島県	106
2	愛知県	912	12	東京都	620	22	三重県	274	31	高知県	180	42	長崎県	95
3	鳥取県	876	13	長野県	615	22	徳島県	274	33	沖縄県	170	42	熊本県	95
4	宮城県	821	14	山形県	602	24	奈良県	262	34	鹿児島県	167	44	大阪府	88
5	北海道	805	15	岐阜県	591	25	福岡県	258	35	秋田県	158	45	滋賀県	70
6	宮崎県	799	16	富山県	559	26	京都府	250	36	佐賀県	156	46	群馬県	53
7	山梨県	707	17	岩手県	500	27	福井県	237	37	新潟県	155	47	神奈川県	48
8	香川県	699	18	静岡県	485	28	青森県	236	38	栃木県	131			
9	山口県	667	19	島根県	335	29	大分県	215	39	岡山県	125			
10	福島県	635	20	千葉県	320	30	石川県	198	40	兵庫県	117			

指定都市（　　）と県庁所在市

順位	市	件数	順位	市	件数	順位	市	件数	順位	市	件数	順位	市	件数
1	名古屋市	436	11	富山市	44	21	前橋市	30	31	岡山市	10	41	宮崎市	3
2	新潟市	275	11	高松市	44	22	堺市	25	32	秋田市	9	42	長崎市	2
3	静岡市	179	13	甲府市	39	22	松江市	25	32	水戸市	9	43	青森市	1
4	千葉市	114	14	福岡市	37	22	松山市	25	34	長野市	8	43	福島市	1
5	熊本市	102	15	相模原市	36	25	徳島市	23	34	福井市	8	43	鳥取市	1
6	浜松市	87	15	京都市	36	26	さいたま市	21	34	高知市	8	43	下関市	1
7	横浜市	73	17	盛岡市	34	27	金沢市	18	37	広島市	7	43	佐賀市	1
8	北九州市	57	18	仙台市	32	27	大分市	18	38	奈良市	5	48	山形市	0
9	岐阜市	55	18	川崎市	32	29	那覇市	17	38	鹿児島市	5	48	津市	0
10	札幌市	49	18	宇都宮市	32	30	神戸市	16	40	大津市	4	48	和歌山市	0
												48	大阪市	0

１－２　1,722市区町村（指定都市は除く）

平成18～24年度、総合評価方式の導入状況・実施状況



86市区町が2桁実施

うち50件以上実施：6市区
（県庁所在市は除く）
【愛知県】豊田市157件
【長野県】高岡市137件
【東京都】中野区100件
【石川県】小松市85件
【愛知県】岡崎市79件
【福岡県】久留米市50件

5

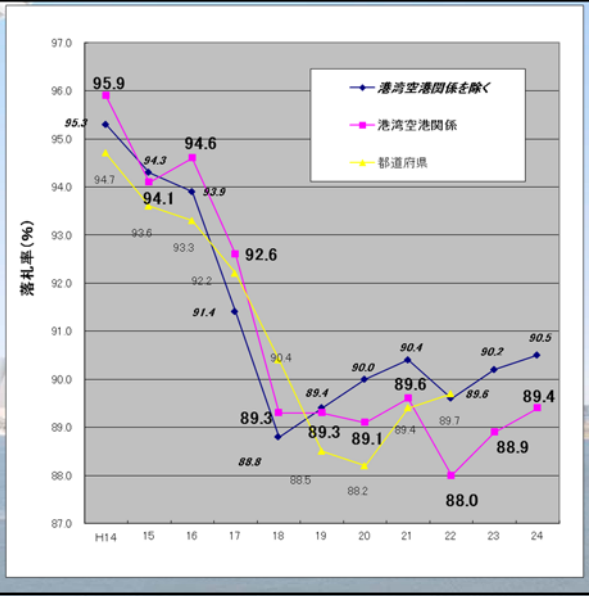
2. 港湾空港工事の入札契約実態

出典：PAS（港湾空港関連入札・契約情報）
国土交通省ホームページ、港湾、入札・契約制度等
8地方整備局ホームページ、港湾空港部の入札・契約情報

6

2－1　平均落札率の推移

出典:国土交通省直轄工事等契約関係資料(平成15～25年度)、建設専門誌

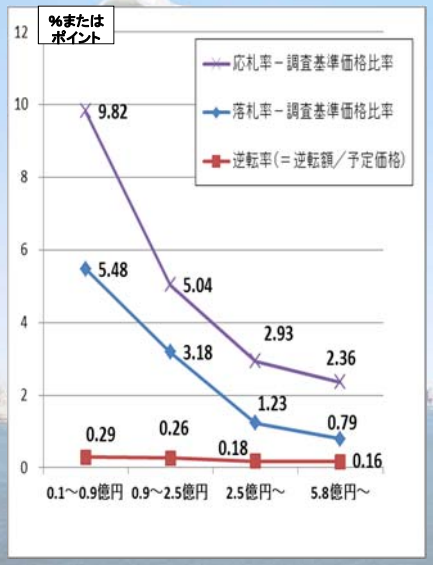


2－2　工事規模別の実態

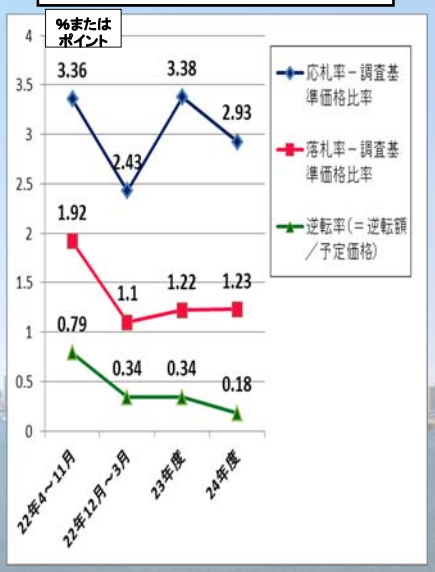
予定価格		工事件数	予定価格(百万円)	調査基準価格/予定価格(%)	落札率(%)	落札者の順位 価格	落札者の順位 加算点	参加者 応札率	逆転額(平均) (万円)	逆転額(平均) 対予定価格比率	逆転発生件数(割合)
5.8億円以上	計	71	－	－	－	－	－	－	－	－	31
	平均	－	1277	87.31	88.10	1.73	1.17	89.67	162	0.16	(43.66)
2.5億円以上	計	209	－	－	－	－	－	－	－	－	95
	平均	－	696	86.75	87.98	1.97	1.27	89.68	106	0.18	(45.45)
0.9～2.5億円	計	209	－	－	－	－	－	－	－	－	83
	平均	－	157	85.95	89.13	1.96	1.36	90.99	39.1	0.26	(39.71)
0.1～0.9億円	計	154	－	－	－	－	－	－	－	－	31
	平均	－	47.7	85.23	90.71	1.32	1.29	95.05	14.2	0.29	(20.13)
1千万円以下	計	16	－	－	－	－	－	－	－	－	0
	平均	－	6.3	－	87.58	1	1.19	95.52	0	0	(0)

予定価格		参加者 全	無効(低入札)	超過	辞退
5.8億円以上	計	490	93	16	11
	平均	6.90	1.31	0.23	－
2.5億円以上	計	1,496	285(3)	62	33
	平均	7.16	1.36	0.30	－
0.9～2.5億円	計	1,362	173(1)	68	116
	平均	6.52	0.83	0.33	－
0.1～0.9億円	計	626	65(10)	84	84
	平均	4.06	0.42	0.55	－
1千万円以下	計	40	0	13	3
	平均	2.50	－	0.81	－

工事規模別の実態（平成24年度）



平成22～24年度の経年変化（予定価格2.5億円以上）



9

２－(３)二極化への対応と地方整備局の実態
出典:「港湾工事における総合評価二極化 への対応について」等

二極化への対応方針（案） ～公共工事入札契約の基本的考え方と港湾関係工事の特性～

国土交通省

公共工事入札契約に係る主な方針

基本理念

公共工事入札契約適正化法(2000)
・公共工事に対する国民の信頼の確保と建設業の健全な発達を図る。

公共工事品質確保法(2005)
・公共工事の品質は、
使用され初めて確認できる
受注者の技術的能力に負うところが大きい
個別の工事により条件が異なる
等の特性を有することにかんがみ、経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素をも考慮し、価格及び品質が総合的に優れた内容の契約がなされることにより、確保されなければならない。

総合評価導入

昨今情勢

建設産業の再生と発展のための方策2012
・東日本大震災への対応を次に活かす
・公共工事の入札契約制度の改革等
（地域社会の担い手確保を発注者責務に）
など

港湾工事の特性と必要な配慮事項

海上・水中等の特殊条件下での作業から一般陸上作業まで、幅広い作業条件

二極化にあたり

様々な工事内容に応じ民間企業の技術力を適切に適用するため、
○より適切な工種・要件設定
○技術評価における技術力の重視と柔軟性の確保

更に・・・

担い手確保の観点から、港湾工事の特性に応じた企業やその技術力の確保を図ることができるよう、より適切な評価のあり方を検討、順次導入

二極化の制度設計にあたっては、
以上を重視しつつ、
可能な限り競争参加者・発注者の負担を軽減

1

10

港湾工事の特性を踏まえた総合評価二極化への主な対応（案）

国土交通省

○総合評価における技術力重視
・港湾工事の特性に鑑み、技術提案を求めるべき案件については引き続き技術提案評価型として実施（標準型／簡易型適用のバランス・対象工事は現行とほぼ同様）。
・技術提案の配点比率も、従来の標準Ⅰ型レベルを確保。

○評価の柔軟性確保（成績重視に伴う弊害回避）
・施工能力評価型において、Ⅰ型の一部で施工計画評価の点数化を可能とし、実績による評価固定化を回避。
・技術提案評価型において、実績による加点比率を下げたチャレンジ型を選択肢として追加。
・工事特性に応じた多様な評価項目の設定（作業船保有、技術提案力の評価等）。

○地域社会の担い手確保に資する評価の導入
・災害協定、企業BCP、航路啓開等に資する作業船の保有等を地域貢献として適切に評価。
・担い手確保に資する地域企業の受注機会の確保を図るため、技術提案評価型において、実績による加点比率を下げたチャレンジ型を選択肢として追加。（再掲）
・技術者評価にあたり、人材育成に配慮（現場代理人経験を監理技術者経験と同程度に評価）。

○受発注者双方の労力軽減
・技術提案評価型については、一部多数の応札者が予想される案件において、二段階選抜を導入。
・従来の簡易型のうち、難易度の低い工事について、施工計画の提出を求めない（施工能力評価Ⅱ型の導入）。

11

港湾空港関係工事の総合評価方式（一例）

ただし、実績の少ない企業の受注機会確保策として施工計画重視型、チャレンジ型を一部の工事で試行する。

（現　行）		（見直し後）	
◎簡易型	40点	◎施工能力評価型（Ⅰ、Ⅱ型）	40点
◎標準Ⅱ型	50点	◎施工計画重視型	40点
◎標準Ⅰ型	60点	◎チャレンジ型	40点
◎WTO標準型	70点	◎技術提案評価型（S型）	60点
		◎WTO技術提案評価型（S型）	60点
		◎技術提案評価型（A型）	70点

<配点割合>

施工能力評価型

総合評価対象 40（30）※1		
	企業・技術者の能力等40（30）	
施工計画※1 0（0）	企業の能力等※2 20（15）	技術者の能力等 20（15）

※1施工体制確認型でない場合は、（）内の点数とする。
※2「地域精通度・貢献度等」の評価は「企業の能力等」の中で必要に応じて設定し、配点は10点とする。

施工計画重視型

総合評価対象 40		
	企業・技術者の能力等30	
施工計画 10	企業の能力等 15	技術者の能力等 15

チャレンジ型

総合評価対象 40		
	企業・技術者の能力等20	
施工計画 20	企業の能力等 10	技術者の能力等 10

12

関東地方整備局・港湾

①技術提案
下記における評価項目について評価する。
なお、最高点を30点とする。

※ただし、下記評価項目に係る評価点は、開札後に行われる⑤施工体制（施工体制評価点）の審査結果により得られる施工体制評価点の割合によって減ずる場合がある。
（計算式：開札後の評価点＝審査の結果得られた施工体制評価点／30点×①技術提案により得られた評価点）

評価項目	評価基準	配点
①工事全般の施工計画		
施工上配慮すべき事項等の技術的所見	本工事における、施工上配慮すべき事項等の技術的所見に対して評価点を与える。 評価点は、下表の評価指標の合計点数に応じ与えるものとする。 ※評価点は小数第4位四捨五入とする。	30

評価指標（1提案項目あたり※）	優	良	可
	10～6点	5～1点	0点

※1評価項目に対し、最大5項目の提案を求めるため、5項目各々に対し、上記10段階にて評価を行う。
※5項目各々の配点を合計し、評価点に換算する。

優：非常に優れた内容の施工計画である。
良：標準的な施工計画よりも優れた施工計画である。
可：標準的な施工計画である。
不採用：不適切な施工計画である。

（配置予定技術者の資格取得（若手技術者、若手担当者）
※配置予定技術者を複数提出している場合は、下記の評価点が、最低以内を評価対象とする。）

現場代理人への配置【若手技術者】 ・若手技術者とは、満30歳～満40歳までの一級土木施工管理技士、または技術士を有する技術者。 ・監理技術者の専任期間と同様に従事しなければならない。 ※1．満29歳未満及び満41歳以上の技術者を配置した場合は0点 ※2．年齢は申請書提出期限日 ※3．技術士：技術士（建設部門、農業部門（選択科目を「農業土木」とするものに限る）、森林部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る）、水産部門（選択科目を「水産土木」とするものに限る）又は総合技術監理部門（選択科目を「建設」、「農業－農業土木」、「森林－森林土木」又は「水産－水産土木」とするものに限る））	若手技術者を現場代理人へ配置	5	評価点の累加なし 最大5点
	若手技術者以外を現場代理人へ配置	0	
担当技術者への配置【若手担当者】 ・若手担当者とは、満30歳未満の一級土木施工管理技士を有する技術者。 ・監理技術者の専任期間と同様に従事しなければならない。 ※1．満30歳以上の技術者を配置した場合は0点 ※2．年齢は申請書提出期限日	若手担当者を担当技術者へ配置 ※複数の累加無し	2	
	若手担当者以外を担当技術者へ配置 担当技術者の配置なし	0	

13

九州地方整備局 港湾

表－3　技術提案の「効果」の判定基準

「効果」の評価項目	a	b	c	―
技術提案の効果	特に高い	高い	低い	なし（標準案と同等）
提案内容の効果を発揮する範囲	（広い範囲）工事区域全体	中位	（狭い範囲）工事区域の一部	―
提案内容の効果を発揮する期間又は頻度	期間が長い 頻度が多い	中位	期間が短い 頻度が少ない	―

「効果」の判定	効果、範囲、期間又は頻度　の組合せ		
	効果「a」の場合	効果「b」の場合	効果「c」の場合
A評価	aaa		
B評価	aab aba		
C評価	abb aac aca	baa	
D評価	abc acb	bab bba	
E評価	acc	bbb bac bca	
F評価		bbc bcb	caa
G評価		bcc	cab cba
H評価			cbb cac cca
I 評価			cbc ccb
J 評価			ccc
―評価	―	―	―

表－4　技術提案の評価表（1提案あたり）

			効果										
			A評価	B評価	C評価	D評価	E評価	F評価	G評価	H評価	I評価	J評価	―評価
具体性	あり	○	5.00	4.50	4.00	3.50	3.00	2.50	2.00	1.50	1.00	0.50	0.00
	なし	―	2.50	2.25	2.00	1.75	1.50	1.25	1.00	0.75	0.50	0.25	0.00

1項目あたりの提案数は、3提案とする。
上表のとおり「効果」及び「具体性」の観点から、各提案毎に5点満点評価する。
全提案の合計得点（3提案×5点＝15点満点）を当該評価テーマの配点に応じて換算する。

14

3. 加算点付与の状況と落札率
3－1　農林水産省の総合評価方式

出典:『九州ブロック発注者協議会（第13回幹事会）』を開催しました～ 更なる公共工事の品質確保に向けて～
工事に関する総合評価落札方式の実施に伴う事務手続きの運用について
（平成23年3月25日　最終改正、農村振興局）

評価方法		
	標準A-Ⅰ型	技術提案及び配置技術者ﾋｱﾘﾝｸﾞ評価
	標準A-Ⅱ型	企業評価（不正又は不誠実な行為等、地元企業活用） 技術提案評価
	標準B型	企業評価（優良工事表彰実績、工事成績、地域貢献、手持ち工事量、不正又は不誠実な行為等） 技術者評価（資格取得後の経験年数、併せ持つ資格、工事の施工経験、優良工事表彰実績、継続教育への取り組み等） 技術提案評価
	簡易Ⅰ型	企業評価（優良工事表彰実績、工事成績、地域精通度、地域貢献、手持ち工事量、不正又は不誠実な行為等） 技術者評価（資格取得後の経験年数、併せ持つ資格、工事の施工経験、優良工事表彰実績、継続教育への取り組み等） 技術提案評価
	簡易Ⅱ型	企業評価（優良工事表彰実績、工事成績、地域精通度、地域貢献、当該地域内での施工実績手持ち工事量、不正又は不誠実な行為等） 技術者評価（資格取得後の経験年数、併せ持つ資格、工事の施工経験、優良工事表彰実績、当該地域内での施工実績、継続教育への取り組み等）

平成23年度に「二極化」

15

標準A－Ⅰ型（品質向上重視型）における評価項目及び評価基準（標準例）

評価項目		評価基準	評価点
技術提案	社会的要請、総合的なコスト、工事目的物の性能・機能など特定の技術的課題 土地改良法等に基づく農業農村整備工事で構築する構造物の目的と役割に関する知見 その他の事項 （上記の項目に基づき課題を提示し、提案を求める。）	技術提案内容を評価し、評価点の範囲内で加点する。 （※提案に対する具体的な評価・加点の基準については、工事の特性に応じ、案件ごとに定め入札説明書に明示すること。）	1～40点
		適切である。	0点
		不適切である。	欠格
技術提案小計		（1項目）	最高40点
ヒアリング	配置予定技術者に対するヒアリング （評価基準の例）	農業農村整備等工事で構築する構造物の目的・役割の理解度。	0～2点
		現地特性（農地状況、農業水利状況、現況施設の維持管理状況、地質、環境（生態系・景観等）、その他受益地域の特性等）の理解度。	0～3点
		技術提案内容に対する理解度。	0～3点
		当該工事の施工に関する技術的所見。	0～2点
ヒアリング小計		（1項目）	最高10点
合計		（2項目）	最高50点

標準A－Ⅱ型（品質向上重視型）における評価項目及び評価基準（標準例）

評価項目		評価基準	評価点
技術提案	社会的要請、総合的なコスト、工事目的物の性能・機能など特定の技術的課題 土地改良法等に基づく農業農村整備工事で構築する構造物の目的と役割に関する知見 その他の事項 （上記の項目に基づき課題を提示し、提案を求める。）	技術提案内容を評価し、評価点の範囲内で加点する。 （※提案に対する具体的な評価・加点の基準については、工事の特性に応じ、案件ごとに定め入札説明書に明示すること。）	1～50点
		適切である。	0点
		不適切である。	欠格
合計		（1項目）	最高50点

16

農林水産省発注工事と港湾空港関係工事の入札契約状況
（平成24年度Aランク以上）
【予定価格】港湾空港　2.5億円以上、農林水産省　2.3億円以上

種　別		工事件数	予定価格（百万円）	調査基準価格/予定価格（%）	落札率（%）	落札者の順位 価格	落札者の順位 加算点	参加者 応札率	逆転額（平均） （万円）	逆転額（平均） 対予定価格比率	逆転発生件数（割合）
港湾空港関係工事	計	209	－	－	－	－	－	－	－	－	95
	平均	－	696	86.75	87.98	1.97	1.27	89.68	106	0.18	(45.45)
農林水産省発注工事	計	94	－	－	－	－	－	－	－	－	43
	平均	－	562	85.63	89.01	2.29	1.19	90.30	294	0.62	(45.74)

落札率と
調査基準価格比率の差
港湾：約1ポイント
農水：3ポイント超

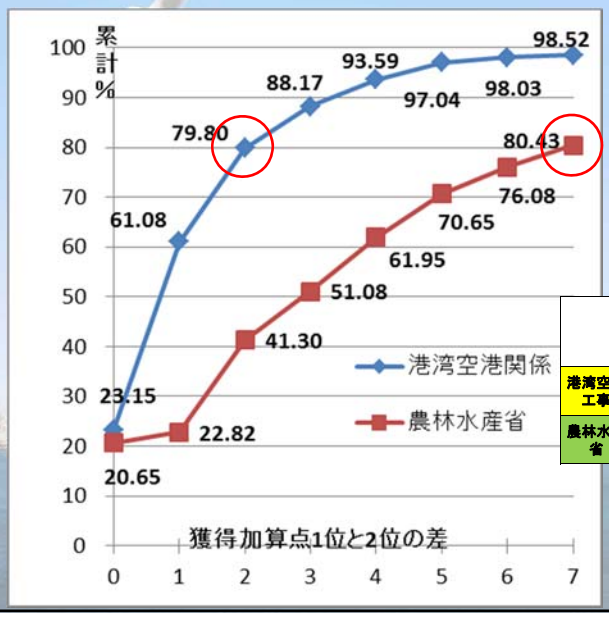
種　別		満点（割合）	加算点の平均 1位－2位（割合）	加算点の平均 1位（割合）	加算点の平均 2位（割合）	最下位（割合）	1位同点件数/全件数（割合）
港湾空港関係工事		43.54	1.32	30.87	29.55	21.74	47/203
		(100.00)	(3.00)	(70.90)	(67.87)	(49.93)	(23.15)
農林水産省発注工事		43.80	4.82	43.68	38.86	22.80	19/92
		(100.00)	(11.00)	(99.73)	(88.72)	(52.05)	(20.65)

獲得加算点
1位と2位の差
港湾：約1点
農水：約5点

種　別		参加者 全	参加者 無効（低入札）	参加者 超過	参加者 辞退
港湾空港関係工事	計	1,496	285(3)	62	33
	平均	7.16	1.36	0.30	－
農林水産省発注工事	計	721	113	27	86
	平均	7.67	1.20	0.29	－

17

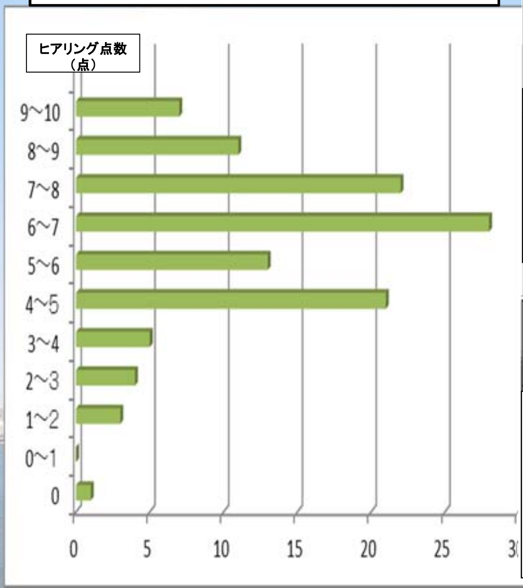
3－2　加算点付与の状況と落札率
Aランク以上【予定価格】港湾空港　2.5億円以上、農林水産省　2.3億円以上



	調査基準価格比率	落札率	獲得加算点の差による計算値
港湾空港工事	86.75%	87.98%	87.84%
	1.23ポイント差		2点差
農林水産省	85.63%	89.01%	89.23%
	3.38ポイント差		7点差

18

平成24年度農林水産省発注　Ａ－１型13件
予定価格平均17.8億円　応札者数115者
ヒアリング獲得点数分布（10点満点）



（参考）地方整備局のヒアリング結果：ヒアリング係数、全て1.0

業者名	技術提案等の評価 / 技術提案に係る施工計画 / PC箱桁コンクリートの確実な施工に関する工夫について：評価点	ヒアリング係数	ヒアリング後の評価点（評価点＊ヒアリング係数）	PC鋼材の確実な施工に関する工夫について：評価点	ヒアリング係数	ヒアリング後の評価点（評価点＊ヒアリング係数）	技術提案等の加算点計
	13.0000	1.00	13.0000	7.0000	1.00	7.0000	20.0000
	27.0000	1.00	27.0000	16.0000	1.00	16.0000	43.0000
	30.0000	1.00	30.0000	16.0000	1.00	16.0000	46.0000
	27.0000	1.00	27.0000	20.0000	1.00	20.0000	47.0000
	27.0000	1.00	27.0000	13.0000	1.00	13.0000	40.0000
	13.0000	1.00	13.0000	9.0000	1.00	9.0000	22.0000
	24.0000	1.00	24.0000	7.0000	1.00	7.0000	31.0000
	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-

（参考）地方整備局のヒアリング結果：ヒアリング係数、全て1.0

業者名	技術提案等の評価 / 技術提案に係る施工計画 / [illegible]するための施工管理方法の工夫について：評価点	ヒアリング係数	ヒアリング後の評価点（評価点＊ヒアリング係数）	周辺環境等に配慮した施工上の工夫について：評価点	ヒアリング係数	ヒアリング後の評価点（評価点＊ヒアリング係数）	技術提案等の加算点計
	26.0000	1.00	26.0000	17.0000	1.00	17.0000	43.0000
	26.0000	1.00	26.0000	17.0000	1.00	17.0000	43.0000
	26.0000	1.00	26.0000	20.0000	1.00	20.0000	46.0000
	17.0000	1.00	17.0000	17.0000	1.00	17.0000	34.0000
	-	-	-	-	-	-	-
	21.0000	1.00	21.0000	20.0000	1.00	20.0000	41.0000
	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
	13.0000	1.00	13.0000	17.0000	1.00	17.0000	30.0000
	-	-	-	-	-	-	-

19

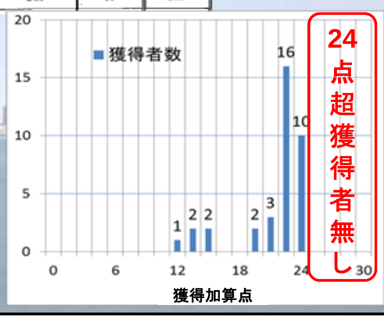
4．総合評価方式の課題
4－1　技術提案評価型
・差のつかない加算点　　　・発注者の認識

評価項目計	施工体制評価点(A)	加算点(B)
21.0	30	21.0
19.5	30	19.5
22.5	30	22.5
22.5	—	—
22.5	—	—
13.5	—	—
-	—	—
24.0	30	24.0
22.5	30	22.5
22.5	30	22.5
24.0	30	24.0
24.0	30	24.0
24.0	30	24.0
13.5	30	13.5
15.0	30	15.0

評価項目計	施工体制評価点(A)	加算点(B)
22.5	30	22.5
24.0	30	24.0
22.5	—	—
22.5	30	22.5
24.0	30	24.0
22.5	30	22.5
24.0	30	24.0
22.5	30	22.5
22.5	30	22.5
22.5	—	—
24.0	—	—
22.5	30	22.5
22.5	30	22.5
24.0	30	24.0
15.0	30	15.0

評価項目計	施工体制評価点(A)	加算点(B)
21.0	30	21.0
12.0	30	12.0
—	—	—
21.0	30	21.0
22.5	30	22.5
22.5	30	22.5
19.5	30	19.5
24.0	30	24.0

30点満点 38者参加



20

11月20日付け
日刊建設工業新聞

近畿整備局の新たな総合評価方式

大建協が説明会

大阪建設業協会は20日、大阪市中央区の大阪建設会館で、近畿地方整備局の新たな総合評価方式に関する説明会を開いた＝写真。会員ら約90人が参加した。

講師の安藤佑治企画部技術開発調整官は冒頭、「皆さんは総合評価について日々研さんされており、技術点がトップで並ぶ会社が非常に増えてきた。われわれは無理に差をつけるようなテーマを設定したり、評価を細かくしたりして差をつけることも可能だが、果たしてそれが良いのかどうかと思う。総合評価は価格と価格以外のものを評価し、特に技術と経営に優れた業者を選ぶためのもの。一定の水準以上であれば、良いのではないかという気がする」と話す

「無理に差をつけるようなテーマを設定したり、
評価を細かくして差をつけることも可能だが、果たしてそれが良いのかどうか」
「総合評価は価格と価格以外のものを評価し、特に技術と経営に優れた業者を選ぶためのもの。一定の水準以上であれば、良いのではないかという気がする」

21

4－2 施工能力評価型

【企業・技術者評価】工事成績・表彰等の評価

国土交通省 中国地方整備局

企業及び配置予定技術者の工事成績評定点毎の加算点配分表

工事成績評定点	加算点(早見表)													
	加算点2点		加算点3点		加算点4点		加算点5点		加算点6点		加算点7点		加算点8点	
	企業・配置予定技術者	現場代理人・担当技術者の場合	企業・配置予定技術者	現場代理人・担当技術者の場合	企業・配置予定技術者	現場代理人・担当技術者の場合	企業・配置予定技術者	現場代理人・担当技術者の場合	企業・配置予定技術者	現場代理人・担当技術者の場合	企業・配置予定技術者	現場代理人・担当技術者の場合	企業・配置予定技術者	現場代理人・担当技術者の場合
85	2.0	1.0	3.0	1.5	4.0	2.0	5.0	2.5	6.0	3.0	7.0	3.5	8.0	4.0
84	1.9	0.9	2.8	1.4	3.8	1.9	4.7	2.3	5.7	2.8	6.6	3.3	7.6	3.8
83	1.8	0.9	2.7	1.3	3.6	1.8	4.5	2.2	5.4	2.7	6.3	3.1	7.2	3.6
82	1.7	0.8	2.5	1.2	3.4	1.7	4.2	2.1	5.1	2.5	5.9	2.9	6.8	3.4
81	1.6	0.8	2.4	1.2	3.2	1.6	4.0	2.0	4.8	2.4	5.6	2.8	6.4	3.2
80	1.5	0.7	2.2	1.1	3.0	1.5	3.7	1.8	4.5	2.2	5.2	2.6	6.0	3.0
79	1.4	0.7	2.1	1.0	2.8	1.4	3.5	1.7	4.2	2.1	4.9	2.4	5.6	2.8
78	1.3	0.6	1.9	0.9	2.6	1.3	3.2	1.6	3.9	1.9	4.5	2.2	5.2	2.6
77	1.2	0.6	1.8	0.9	2.4	1.2	3.0	1.5	3.6	1.8	4.2	2.1	4.8	2.4
76	1.1	0.5	1.6	0.8	2.2	1.1	2.7	1.3	3.3	1.6	3.8	1.9	4.4	2.2
75	1.0	0.5	1.5	0.7	2.0	1.0	2.5	1.2	3.0	1.5	3.5	1.7	4.0	2.0
74	0.9	0.4	1.3	0.6	1.8	0.9	2.2	1.1	2.7	1.3	3.1	1.5	3.6	1.8
73	0.8	0.4	1.2	0.6	1.6	0.8	2.0	1.0	2.4	1.2	2.8	1.4	3.2	1.6
72	0.7	0.3	1.0	0.5	1.4	0.7	1.7	0.8	2.1	1.0	2.4	1.2	2.8	1.4
71	0.6	0.3	0.9	0.4	1.2	0.6	1.5	0.7	1.8	0.9	2.1	1.0	2.4	1.2
70	0.5	0.2	0.7	0.3	1.0	0.5	1.2	0.6	1.5	0.7	1.7	0.8	2.0	1.0
69	0.4	0.2	0.6	0.3	0.8	0.4	1.0	0.5	1.2	0.6	1.4	0.7	1.6	0.8
68	0.3	0.1	0.4	0.2	0.6	0.3	0.7	0.3	0.9	0.4	1.0	0.5	1.2	0.6
67	0.2	0.1	0.3	0.1	0.4	0.2	0.5	0.2	0.6	0.3	0.7	0.3	0.8	0.4
66	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.4	0.2
65	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

22

４－３　施工体制確認型
・低い加算点で落札
・不調・不落の一因

技術提案
13点
（最低）
で落札

No.	業者名	標準点	技術提案 ニューマチックケーソン基礎の品質向上対策	技術者の能力	企業の能力等	事故等による指名停止等	贈賄等による指名停止等	施工体制	加算点合計
		100	25.0000	4.5000	9.5000	0.0000	-3.0000	30.0000	66.0000
		100	24.0000	7.0000	7.0000	0.0000	0.0000	－	－
		100	24.0000	5.0000	11.5000	0.0000	0.0000	－	－
		100	13.0000	7.0000	7.0000	0.0000	0.0000	30.0000	57.0000
		100	24.0000	6.5000	10.5000	0.0000	0.0000	－	－

技術提案
9点
（最低）
で落札

No.	業者名	標準点	技術提案 ニューマチックケーソン基礎の品質向上対策	技術者の能力	企業の能力等	事故等による指名停止等	贈賄等による指名停止等	施工体制	加算点合計
		100	19.0000	3.5000	9.5000	0.0000	-3.0000	－	－
		100	19.0000	7.0000	7.0000	0.0000	0.0000	－	－
		100	20.0000	5.0000	10.0000	0.0000	0.0000	－	－
		100	9.0000	2.5000	7.0000	0.0000	0.0000	30.0000	48.5000
		100	25.0000	6.5000	10.5000	0.0000	0.0000	－	－

辞退
2者
無効
13者

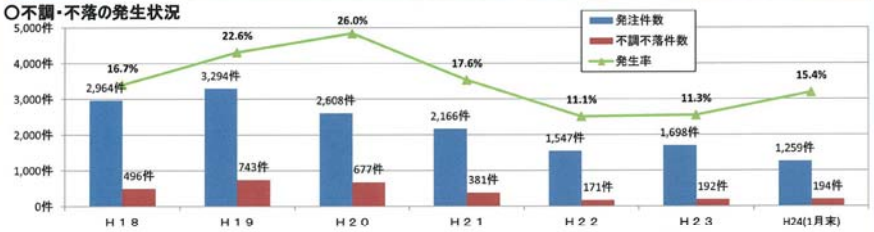
加算点
9点
（最低）
で落札

業者名	評価項目 技術提案に係る項目 指定テーマ1	指定テーマ2	指定テーマ3	簡易な施工計画	施工能力等	地域		評価項目計	施工体制評価点(A)	加算点(B)	技術評価点(C)[基礎点+(A)+(B)]
	9.0	－	－	－	－	－	－	9.0	30	9.0	139.0
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	18.0	－	－	－	－	－	－	18.0	－	－	－
	21.0	－	－	－	－	－	－	21.0	－	－	－
	21.0	－	－	－	－	－	－	21.0	－	－	－
	15.0	－	－	－	－	－	－	15.0	－	－	－
	15.0	－	－	－	－	－	－	15.0	－	－	－
	21.0	－	－	－	－	－	－	21.0	－	－	－
	18.0	－	－	－	－	－	－	18.0	－	－	－
	18.0	－	－	－	－	－	－	18.0	－	－	－
	18.0	－	－	－	－	－	－	18.0	－	－	－
	21.0	－	－	－	－	－	－	21.0	－	－	－
	15.0	－	－	－	－	－	－	15.0	－	－	－
	24.0	－	－	－	－	－	－	24.0	－	－	－
	15.0	－	－	－	－	－	－	15.0	－	－	－

関東地方整備局　資料より

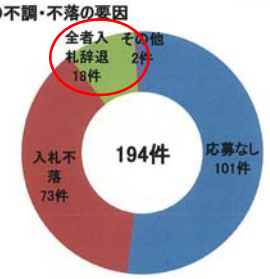
■不調・不落発生率は、H23と比べ若干上昇（H23 11.3 % → H24 15.4 %）
■「法面処理」、「As舗装」等において改善
■「建築」、「受変電設備」、「電気設備」等では、発生率が上昇

○不調・不落の発生状況



○不調・不落発生率の変化

○不調・不落の要因



25

低入札調査基準率が上昇

国と整備局　四国まとめ

10月末までの契約状況

四国地方整備局は、10月31日までの施設工事の契約状況をまとめた。契約件数は503件で、平均落札率は91・6%と06年度以降、横ばいの状況。

総合評価方式のタイプ別発注件数は、技術提案評価型（技術提案2件）16件、同（同1件）89件、入札調査基準率は一般管理工能力評価型9件、同（施工計画無し）388件。12年10月からは、受発注者の事務負担軽減に配慮し、施工能力評価型（施工計画無し）の適用が拡大されている。

落札者の加算点獲得率は、75%以上が492件、75～50%が7件、50～25%が1件、25%未満が2件。09年度末では、加算点獲得率75%以上が全体の90%以上を占めていたが、価格型II型の拡大によって10年度は82・6%、11年度は80・9%と減少。

低価格入札での契約は2件発生しており、契約件数は503件で、前年度（74・8%）と比べて増加。価格が競争の者が落札した比率は82・3%で、前年度（74・8%）と比べて増加。価格が競争の者が落札した比率は74・1%で、前年度（71・2%）と比べて増加している。

低価格入札の状況は、延べ入札数2426件のうち低価格入札数591件で率にして24・4%となっており、09年度8・1%、10年度9・3%、11年度15・5%、12年度18・3%、13年度24・4%と増加傾向にあり、12年度から施工能力評価型の適用を拡大したため、12年度93・5%、13年度は98・0%と90%以上の水準に戻っている。

また、加算点1位の者が落札した比率は82・3%で、前年度（74・8%）と比べて増加。価格が競争の者が落札した比率は74・1%で、前年度（71・2%）と比べて増加している。

11年度15・5%、12年度18・3%と増加傾向にあるが、低価格入札での契約は港湾土木工事で2件発生している。

平成25年12月4日付け
日刊建設工業新聞

13年度10月まで

技術提案評価型105件
施工能力評価型9件：港湾
施工能力評価型338件
（施工計画無し）

低価格入札の状況
09年度　8.1%
10年度　9.3%
11年度15.5%
12年度18.3%
13年度24.4%

低価格入札での契約
港湾土木工事で2件

26

四国地整：港湾2件

業者名	標準点	評価点の内訳 技術提案評価 特定評価項目1	特定評価項目2	特定評価項目3	加算点 合計(施工体制評価前)	最終加算点(施工体制評価後)	施工体制評価点 品質確保の実効性	施工体制確保の確実性	合計	標準点+加算点+施工体制評価点(A)	第1回 入札価格(B)(単位：円)	評価値(A)/(B)(単位：億円)	評価値が基準評価値以上	予定価格以下	調査基準価格以上	順位	第2回 入札価格(C)(単位：円)	評価値(A)/(C)(単位：億円)	評価値が基準評価値以上	予定価格以下	調査基準価格以上	順位	備考
	満点	20	20	20	60	60	15	15	30	190													
全社低入札（有効）	100	13	16	18	47.0	31.3	15.0	5.0	20.0	151.3	955,000,000	15.8429	○	○	×	1							落札
	100	15	20	20	55.0	27.5	0.0	15.0	15.0	142.5	957,600,000	14.9778	○	○	×	2							
	100	15	20	18	53.0	8.8	0.0	5.0	5.0	113.8	978,000,000	11.8241	○	○	×	3							
	100	15	20	18	53.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	991,500,000	10.0857	○	○	×	4							

業者名	標準点	評価点の内訳 技術提案評価 特定評価項目	技術者評価	企業評価	合計	加算点 技術提案評価	技術者・企業評価	合計(施工体制評価前)	最終加算点(施工体制評価後)	施工体制評価点 品質確保の実効性	施工体制確保の確実性	合計	標準点+加算点+施工体制評価点(A)	第1回 入札価格(B)(単位：円)	評価値(A)/(B)(単位：億円)	評価値が基準評価値以上	予定価格以下	調査基準価格以上	順位	第2回 入札価格(C)(単位：円)	評価値(A)/(C)(単位：億円)	評価値が基準評価値以上	予定価格以下	調査基準価格以上	順位	備考
	満点	20	50	70	120	20	20	50	50	15	15	30	190													
全社低入札（うち1者有効）	100	18	45	20	65	18.0	16.3	34.3	11.4	5.0	5.0	10.0	121.4	125,200,000	96.9648	○	○	×	1							落札
	100	6	9	35	44	－	－	－	－	－	－	－	－	122,000,000	－	○	○	×	－							無効
	100	18	21	28	49	－	－	－	－	－	－	－	－	126,000,000	－	○	○	×	－							無効
	100	5	21	10	31	－	－	－	－	－	－	－	－	126,000,000	－	○	○	×	－							無効
	100	16	21	40	61	－	－	－	－	－	－	－	－	128,100,000	－	○	○	×	－							無効
	100	8	37	39	76	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							評価
	100	8	37	39	76	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							評価

27

関東地整：河川・道路

業者名	第1回 入札価格	加算点+施工体制評価点	標準点+加算点+施工体制評価点	評価値	第2回 入札価格	加算点+施工体制評価点	標準点+加算点+施工体制評価点	評価値	見積価格	加算点+施工体制評価点	標準点+加算点+施工体制評価点	評価値	備考
2者予定価格超過 1者低入札（有効）	¥30,000,000	－	－	－									
	¥28,380,000	12	112,000	549,559									落札 低入札調査実施
	¥32,110,000	－	－	－									

業者名	標準点	施工体制評価点 品質確保の実効性 評価点	施工体制確保の確実性 評価点	評価点の合計	企業の技術力 評価点	配置予定技術者の技術力 評価点	加算点	技術評価点
					3	1	－	－
	100	5	5	10	1	1	2.000	112.000
					0	0	－	－

28

関東地整：河川・道路

3者辞退
4者予定価格超過

1者低入札（有効）

業者名	第１回 入札価格	第１回 加算点＋施工体制評価点	第１回 標準点＋加算点＋施工体制評価点	第１回 評価値	第２回 入札価格	第２回 加算点＋施工体制評価点	第２回 標準点＋加算点＋施工体制評価点	第２回 評価値	見積価格	見積 加算点＋施工体制評価点	見積 標準点＋加算点＋施工体制評価点	見積 評価値	備考
	¥220,000,000	—	—	—									
	¥268,500,000	—	—	—									
	¥205,126,006	70	170.000	82.975									
	辞退												
	¥175,000,000	65	165.000	94.285									海氏 低入札(資料調査実施)
	辞退												
	¥226,000,000	—	—	—									
	辞退												
	¥420,000,000	—	—	—									

施工計画の評価点0点で落札

業者名	標準点	施工体制評価点 品質確保の実効性 評価点	施工体制評価点 施工体制確保の確実性 評価点	施工体制評価点 評価点合計	評価点 企業の技術力 施工計画以外 評価点	評価点 企業の信頼性・社会性 評価点	評価点 企業の高度な技術力 工事全般の施工計画 秋保温度調整の提付点における施工上配慮すべき事項について 評価点	評価点の合計	加算点	技術評価点
	100				4	3	0	7.000	–	–
	100	0	5	5	2	1	0	3.000	60.000	165.000
					7	0	0	7.000	–	–
	100	15	15	30	2	0	0	2.000	40.000	170.000
					3	2	30	35.000	–	–
	100				0	0	0	0.000	–	–
					4	1	30	35.000	–	–
	100				6	4	60	70.000	–	–
	100				2	3	15	20.000	–	–

29

近畿地整：河川・道路

全社低入札（うち2者有効）

業者名	価格以外の入札項目 評価（技術発注に係る項目等）	基礎点＋加算点等（A）	第１回入札価格（B）	評価値（A）/（B）	評価値と基準評価値	第２回入札価格（C）	評価値（A）/（C）	評価値と基準評価値	備考	摘要
	28.0	116.00	762,100,000	15.221	○					低入札価格調査実施 予決令第９１条第２項適用落札決定
	–	–	無効							無効
	–	–	無効							無効
	–	–	無効							無効
	–	–	無効							無効
	–	–	無効							無効
	28.0	116.00	795,760,000	14.577	○					

業者名	評価項目 技術提案に係る項目 指定テーマ1	指定テーマ2	指定テーマ3	施工計画	企業の施工能力等	地域精通度		評価項目計	施工体制評価点(A)	加算点(B)	技術評価点(C)(基礎点+(A)+(B))
	18.0	–	–	–	–	–	–	18.0	10	6.0	116.0
	15.0	–	–	–	–	–	–	15.0	–	–	–
	18.0	–	–	–	–	–	–	18.0	–	–	–
	15.0	–	–	–	–	–	–	15.0	–	–	–
	18.0	–	–	–	–	–	–	18.0	–	–	–
	18.0	–	–	–	–	–	–	18.0	–	–	–
	18.0	–	–	–	–	–	–	18.0	10	6.0	116.0

30

4－4　一括審査方式
出典:「平成25年度における国土交通省直轄事業の入札及び契約に関する事務の執行について」(平成25年5月31日、大臣官房)

事務の改善および効率化について

(3) 一括審査方式の活用

① 総合評価落札方式における企業の技術力審査・評価を効率化するため、以下の条件をすべて満たす２以上の工事において、提出させる技術資料（技術提案及び施工計画を含む。）の内容を同一のものとすることができるものとする。

ただし、１．(2)を適用する工事については、イ）からホ）までの条件をすべて満たせばよいものとする。

イ） 支出負担行為担当官又は分任支出負担行為担当官が同一である工事

ロ） 工事の目的・内容が同種の工事であり、技術力審査・評価の項目が同じ工事

ハ） 「工事請負業者選定事務処理要領」（昭和41年12月23日付け建設省厚第76号）及び「官庁営繕部工事請負業者選定要領」（昭和42年７月１日付け建設省営管第845号）第３に掲げる工事種別及び同第２第２号の等級区分、「契約業者取扱要領」（昭和55年12月１日付け運輸省港管第3722号）第７条第１項に掲げる工事種別及び同条第２項の等級区分、「国土交通省所管の契約に係る競争参加資格審査事務処理要領について」（平成13年１月６日付け国官会22号）の別紙「国土交通省所管の契約に係る競争参加資格審査事務取扱要領」別表第二に掲げる業種区分及び別表第一に掲げる等級が同じ工事

ニ） 施工地域が近接する工事

ホ） 入札公告、競争参加資格申請書等の提出、入札、開札及び落札決定のそれぞれについて同一日に行うこととしている工事

ヘ） 工事の品質確保又は品質向上を図るために求める施工計画又は技術提案のテーマが同一となる工事

ト） 「請負工事成績評定要領の運用について」（平成13年３月30日付け国官技第93号）別添２「地方整備局工事技術的難易度評価実施要領」別記様式第１「工事技術的難易度評価表」、「請負工事成績評定基準の制定について」（平成22年６月１日付け国港技第27-2号）別添２「工事技術的難易度評価実施基準」別記様式第１(1)「発注時工事技術的難易度評価表」又は「航空局工事成績評定要領」（平成10年３月26日付け空経第238号、空建第47号）別添２「航空局工事技術的難易度評定要領」別記様式第１－１～１－４「工事技術的難易度評価表」のいずれかの様式のすべての大項目及び技術提案又は施工計画を求めるテーマに関連のある小項目の評価が同じ工事

② 一括審査方式の適用に当たっては、次の事項に留意するものとする。

イ） 入札公告及び入札説明書の交付は工事ごとに別々に行うこと。

ロ） 落札決定を行う工事の順番を入札公告及び入札説明書において明らかにすること。

31

2件一括審査

業者名	価格以外の入札項目 / 施工計画等に関する技術資料	基礎点＋加算点(A)	第1回入札金額(B)	評価値(A)/(B)	評価値≧基準評価値	第 回入札金額(C)	評価値(A)/(C)	評価値≧基準評価値	摘要
実質1者応札	61.3300	161.3300	57,900	278.6355	○				落 札
	－	－	辞 退						辞 退
	－	－	辞 退						辞 退
	－	－	辞 退						辞 退

2件目、不調？

32

3件一括審査

業者名	加算点	基礎点＋加算点	第1回入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	第2回入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	備考	摘要
3者競争	48.7	148.7	275,800	53.9158	○					落札
	44.4	144.4	275,000	52.5090	○					
	49.2	149.2	278,300	53.6112	○					

業者名	加算点	基礎点＋加算点	第1回入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	第2回入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	備考	摘要
実質2者競争			無効							
	44.4	144.4	310,500	46.5056	○					
	49.2	149.2	315,900	47.2301	○					落札

業者名	加算点	基礎点＋加算点	第1回入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	第2回入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	備考	摘要
実質1者のみ			無効							
	44.4	144.4	290,000	49.7931	○					落札
			無効							

33

3件一括審査

業者名	価格以外の入札項目 施工計画等に関する技術資料	基礎点＋加算点(A)	第1回入札金額(B)	評価値(A)/(B)	評価値≧基準評価値	第回入札金額(C)	評価値(A)/(C)	評価値≧基準評価値	摘要
実質3者競争	50.0000	150.0000	66,800	224.5508	○				落札
	55.0000	155.0000	70,000	221.4285	○				
	－	－	辞退						辞退
	38.5000	138.5000	73,500	188.4353	○				

業者名	価格以外の入札項目 施工計画等に関する技術資料	基礎点＋加算点(A)	第1回入札金額(B)	評価値(A)/(B)	評価値≧基準評価値	第回入札金額(C)	評価値(A)/(C)	評価値≧基準評価値	摘要
実質2者競争	－	－	無効						
	25.0000	125.0000	50,000	予定価格超過	－				
	－	－	辞退						辞退
	38.5000	138.5000	49,300	280.9330	○				落札

3件目、不調？

34

4件一括審査

実質 2者競争

業者名	加算点	基礎点＋加算点	第1回入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	第2回入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	備考	摘要
	46.0	146.0	385,000	37.9220	○					落札
			不参加							不参加
			無効							
			無効							
			無効							
			不参加							不参加
	44.7	144.7	425,000	34.0470	○					

実質 3者競争

業者名	加算点	基礎点＋加算点	第1回入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	第2回入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	備考	摘要
			無効							
			不参加							不参加
	43.9	143.9	377,500	38.1192	○					
	45.5	145.5	377,500	38.5430	○					落札
			無効							
			不参加							不参加
	44.7	144.7	409,000	35.3789	○					

実質 1者のみ

業者名	加算点	基礎点＋加算点	第1回入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	第2回入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	備考	摘要
			無効							
			不参加							不参加
			無効							
			無効							
			無効							
			不参加							不参加
	44.7	144.7	366,200	39.5139	○					落札

実質 1者のみ

業者名	加算点	基礎点＋加算点	第1回入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	第2回入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	備考	摘要
			無効							
			不参加							不参加
	43.9	143.9	367,000	39.2098	○					落札
			無効							
			無効							
			不参加							不参加
			無効							

35

4件一括審査

実質 3者競争

業者名	価格以外の入札項目 施工計画等に関する技術資料	基礎点＋加算点(A)	第1回入札金額(B)	評価値(A)/(B)	評価値≧基準評価値	第 回入札金額(C)	評価値(A)/(C)	評価値≧基準評価値	摘要
	41.1700	141.1700	115,000	122.7565	○				
	50.4200	150.4200	112,950	133.1739	○				落札
	—	—	辞退						辞退
	—	—	辞退						辞退
	—	—	辞退						辞退
	—	—	無効						
	—	—	辞退						辞退
	—	—	辞退						辞退
	40.0800	140.0800	122,000	114.8196	○				

実質 2者競争

業者名	価格以外の入札項目 施工計画等に関する技術資料	基礎点＋加算点(A)	第1回入札金額(B)	評価値(A)/(B)	評価値≧基準評価値	第 回入札金額(C)	評価値(A)/(C)	評価値≧基準評価値	摘要
	41.1700	141.1700	105,000	134.4476	○				落札
	—	—	無効						
	—	—	辞退						辞退
	—	—	辞退						辞退
	—	—	辞退						辞退
	—	—	無効						
	—	—	辞退						辞退
	—	—	辞退						辞退
	40.0800	140.0800	108,000	129.7037	○				

3件目、不調？

4件目、不調？

36

【施工能力評価型Ⅰ型またはⅡ型】

・「不調・不落」発生の可能性がより高くなる

・品確法の理念との乖離（低い加算点で落札）

・施工体制確認の時間的余裕がない

→ 「簡略型」の総合評価方式で実施

or 総合評価方式を止め、価格競争へ

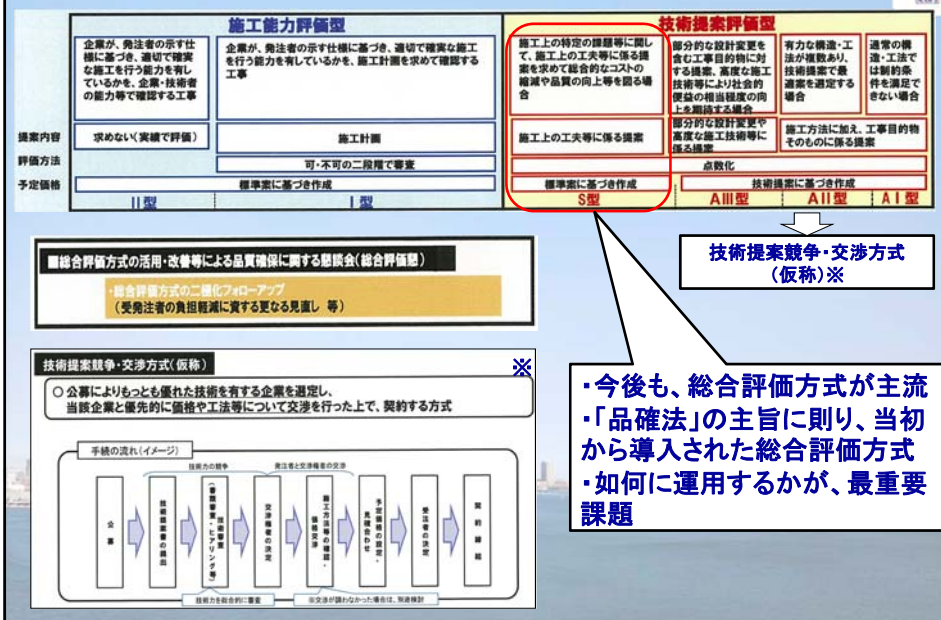
【WTO対象の技術提案評価型S型】

・配置予定技術者の制限（1名のみ）

→ 技術者の複数配置を認める

or 工事を一本化（大型化）して発注

37



・今後も、総合評価方式が主流

・「品確法」の主旨に則り、当初から導入された総合評価方式

・如何に運用するかが、最重要課題

「第1回 発注者責任を果たすための今後の建設生産・監理システムのあり方に関する懇談会」資料を引用

38